

2023年10月2日

化学のココロ。

GCI

GUN EI Chemical Industry

個人投資家向け会社説明会

群栄化学工業株式会社

Gun Ei Chemical Industry Co., Ltd.

(証券コード：4229 プライム市場)

フォトレジスト用ノボラック樹脂^{※1} グローバルシェアNo.1^{※2}

※1：g/i線・液晶向け
※2：当社調べ

電子材料向け製品を中心に売上を伸ばし 2期連続で最高売上高を更新^{※3}

※3：'22年3月期、'23年3月期

13期連続 配当性向30%以上・減配なし 配当利回り 2.60%^{※4} (プライム市場平均 2.22%)

※4：2023年9月25日時点（予想）

1. 会社概要

2. 当社の特徴

3. 成長戦略



群栄化学工業（略称 GCI） 会社概要

群栄化学は、身近にある様々な産業分野に
化学品・食品の「機能性材料」を提供する
『**素材メーカー**』です

化学品



食品



電子材料用樹脂



半導体・ディスプレイ

エンジン・建機の鋳型・
クラッチ板・ブレーキパッド



自動車

断熱材・防音材



住宅

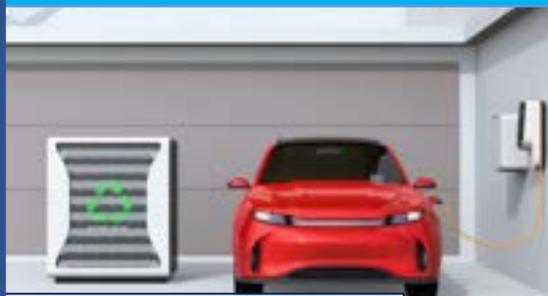
群栄化学の製品は、幅広い用途で使われています

成形材・コート剤



成形・塗料

カイノール



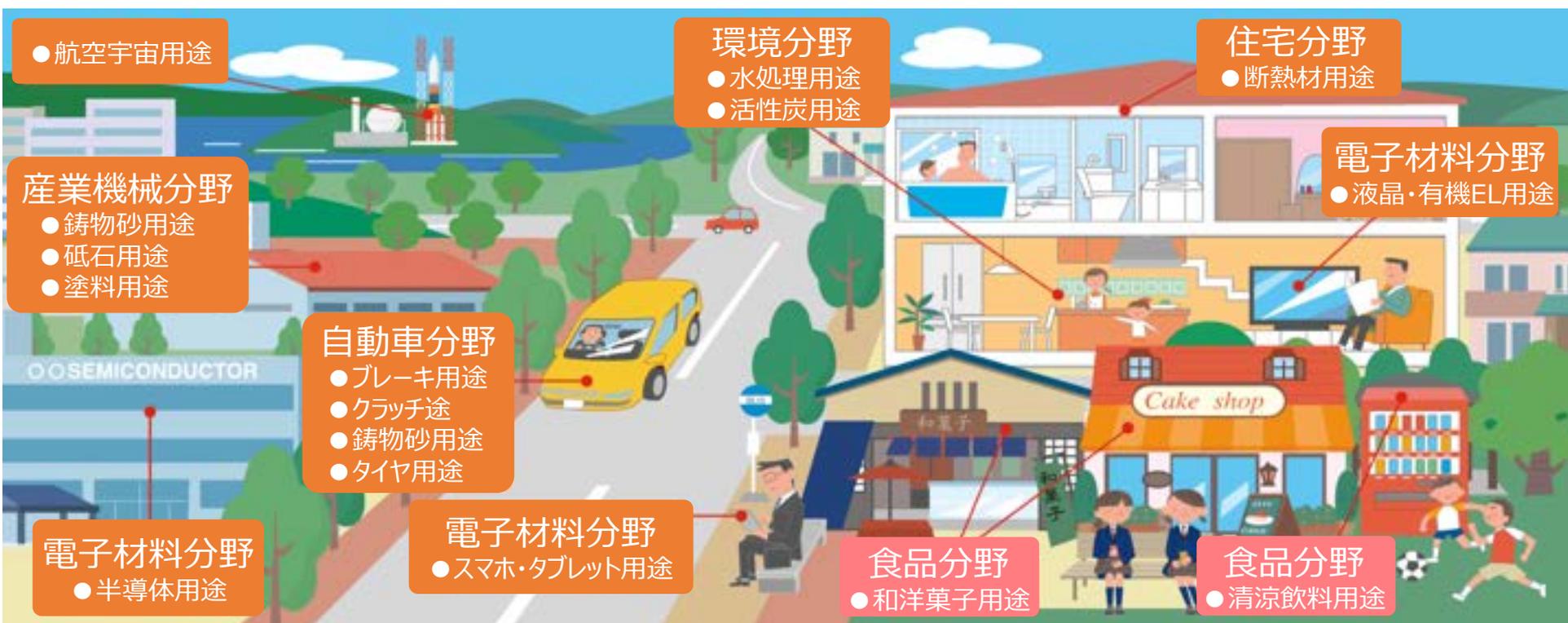
環境・航空関連

飲料(清涼系・ビール系)
甘味料



食品





群栄化学の製品は、縁の下の力持ちとして
皆さまの身近で活躍しています

社名 : 群栄化学工業株式会社 (略称 **GCI**)

本社所在地 : 群馬県 高崎市 宿大類町 700

代表者 : 代表取締役 社長執行役員 有田 喜一郎

設立 : 1946年1月23日 (創業 78年目)

上場区分 : 東京証券取引所 プライム市場

資本金 : 50億円

従業員数* : 526人 (連結)

売上高 : 313億90百万円 (連結)

営業利益 : 16億59百万円 (連結)



代表取締役 社長執行役員
有田 喜一郎

*2023年3月末時点

群馬県高崎市

本社・技術開発センター

群馬工場

(化学品・食品製造)

高崎支店



グループ会社

株式会社ビッグトレーディング

(派遣・業務請負)

滋賀県湖南市

滋賀工場

(化学品製造)



岩手県北上市

グループ会社

東北ユーロイド工業

株式会社

(化学品製造・受託製造)



東京支店

大阪支店

Kynol



KYNOL EUROPA GmbH
● (ドイツ・ハンブルク市)

A-GCI

American GCI Resitop, Inc.
● (アメリカ・イリノイ州)



● **GCI**



India GCI
Resitop Private Limited
● (インド・タミルナードゥ州)



● Thai GCI
Resitop Company Limited
● (タイ・ラヨン県)



**グローバルに高品質な材料を
提案・供給できる環境を整備**

社是

節約・勤勉・合理主義

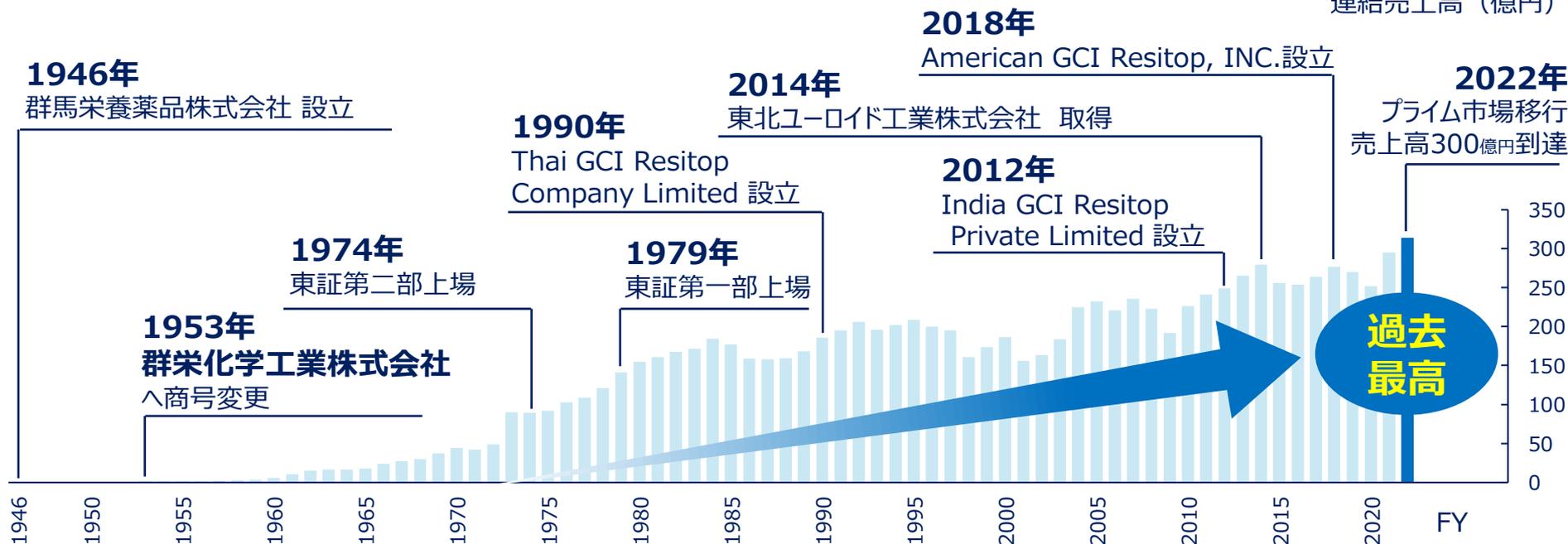
無駄を省き、理にかなった行動で、仕事をやりぬく

理念

化学の知識とアイデアでソリューションを提供し、
より豊かな未来社会創りに貢献する

当社の特徴

連結売上高（億円）



1946年～
ぶどう糖 生産開始

1951年～
工業用フェノール樹脂 生産開始

1960年代～
鋳物用・塗料用樹脂などの販売で
自動車産業と共に業績拡大

1980年～
フォトレジスト用ノボラック樹脂
生産開始

1982年～
高機能ノボロイド繊維
「カイノール」生産開始

1990年～
タイGCI設立、グローバル展開開始

2000年～
穀物糖化液 生産開始

2010年～
電子材料分野を中心とした業績拡大

2018年～
高機能摩擦材用樹脂「ミレックス」事業買収
アメリカンGCI設立、北米市場の拡大

食品（でんぷん糖、穀物糖化液 等）

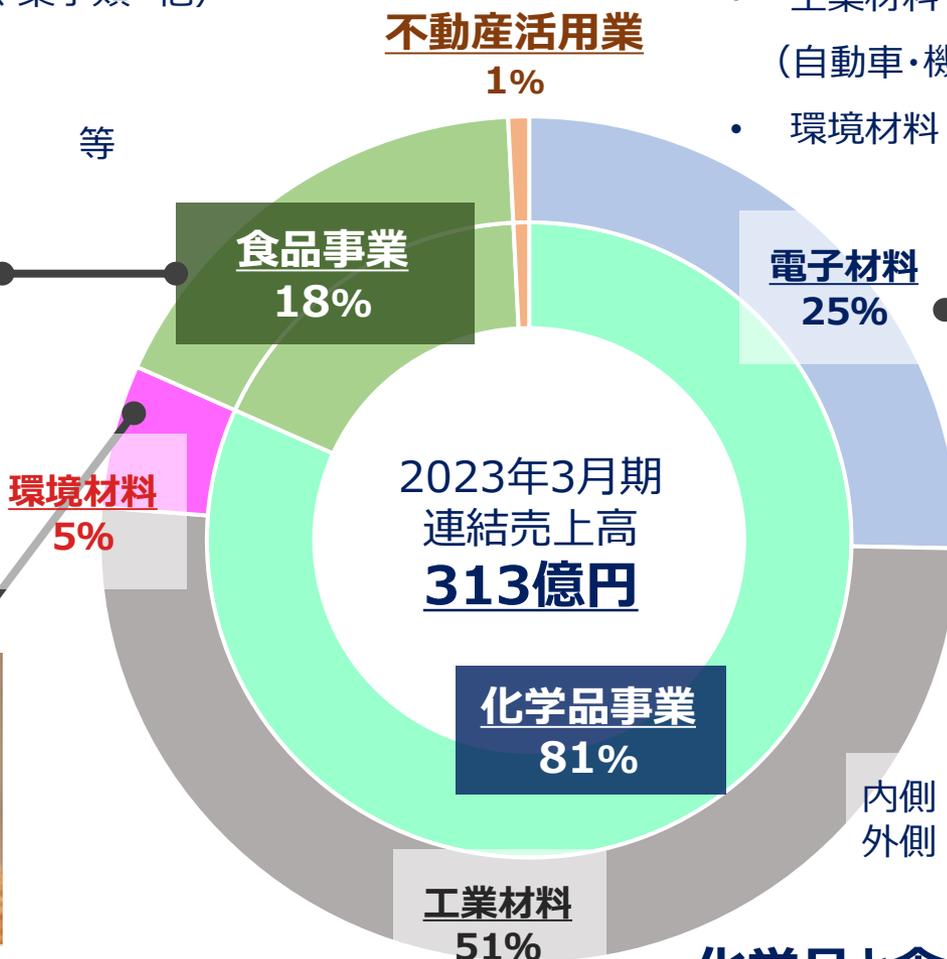
- 飲料、甘味
（清涼飲料、ビール系、菓子類 他）
- 穀物ミルク
- 化粧品原料



オーツミルクの素

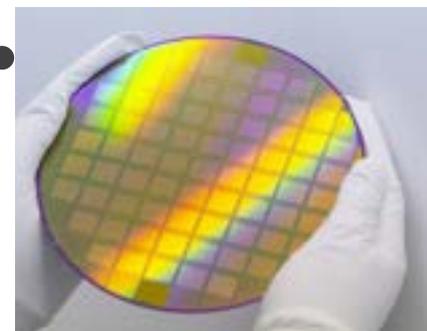


高機能繊維 カイノール
（フェノール樹脂繊維）



化学品（フェノール樹脂 等）

- 電子材料
- 工業材料
（自動車・機械・住宅・成形材料 他）
- 環境材料（カイノール 他）



フォトレジスト用樹脂

内側：当社セグメント別売上高比率
外側：用途別売上高比率

化学品と食品の事業を通じて
環境負荷低減にも貢献しています

フォトレジスト

半導体製造に使用する薬剤。当社は1980年に日本で初めてフォトレジスト用ノボラック樹脂を上市。現在、g/i線・液晶向けフォトレジスト用樹脂のグローバルシェアNo. 1

フォトレジスト



当社製品

製造工程で使用



半導体



CPU・GPU
DRAM・SRAM
センサー
パワー半導体 等

半導体の用途例



PC・スマートフォン・ディスプレイ



データセンター



EV・車載センサー



再生可能エネルギー

カイノール

一般名をノボロイド繊維と呼ぶ、フェノール樹脂繊維
世界で当社だけが製造する高機能繊維



■ 特徴

高い難燃性、断熱性

特定溶剤の**優れた吸脱着性能**（活性炭）

- 均一な細孔径
- 疎水性

■ 用途

防護服、航空機座席の防火シート

溶剤回収装置（活性炭）



防護服

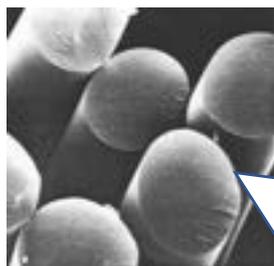


航空機座席



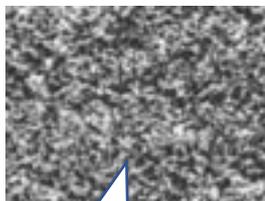
活性炭用途

活性炭繊維の表面



活性炭繊維

拡大図



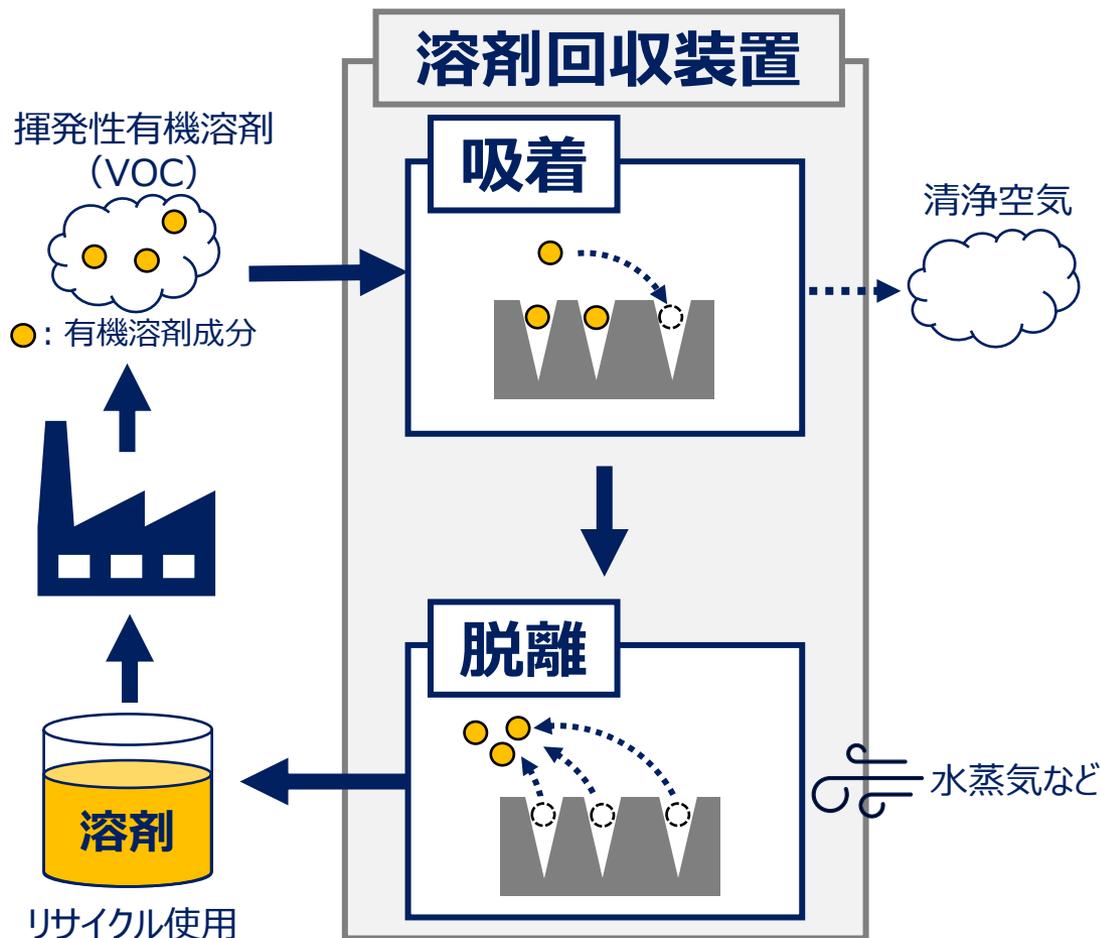
イメージ

細孔



活性炭繊維

溶剤回収の仕組み



環境負荷低減に貢献

オーツミルクの素

近年注目が集まっているオートミール原料「オーツ麦」

当社の糖化技術を駆使し、味と栄養にこだわった、新しい「穀物糖化液」を開発

オーツ麦



GCI



糖化技術

食品・飲料
メーカー等



加工

オーツミルクの素

オーツミルク



■ 特徴

風味豊かですっきりとした甘さ

豊富な食物繊維・ビタミンB群

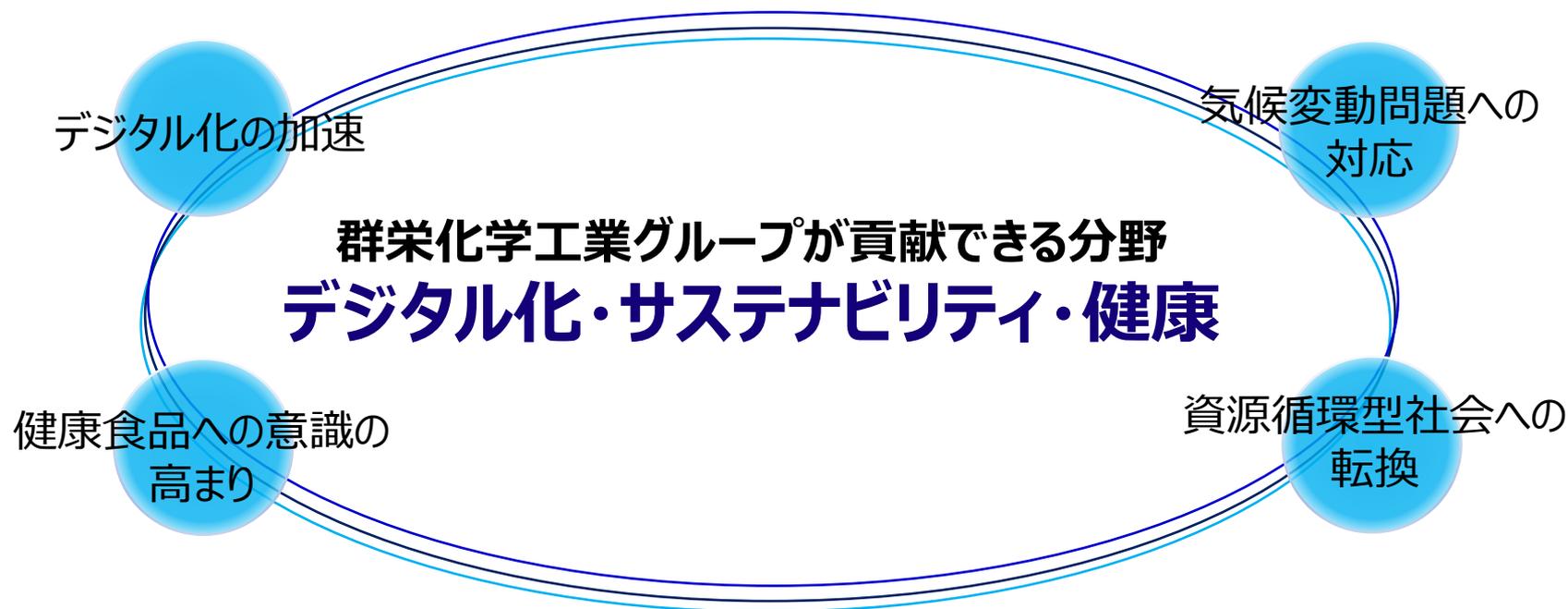
クセが少なく、コーヒーやカフェラテのミルクに合う

植物由来のため温室効果ガスの発生量が少なく、環境負荷低減に貢献

風味、味 がお客様に評価されています

成長戦略

合成・糖化技術の開発・再構築により
グローバルにソリューションを提供し、社会の持続的成長に貢献できる
"**Green・Chemical・Industry(GCI)**"となる



社会的課題・ニーズ

デジタル化の加速



半導体など電子材料の需要増大

サステナビリティの追求



EVや省エネ・リサイクル製品の普及

健康への意識の高まり



植物由来製品の需要増大



群栄化学工業グループ保有技術・強み

電材（化学品事業）

フォトレジスト用樹脂の高いシェア
低メタル化技術
高い品質管理能力

環境材料（化学品事業）

高機能繊維カイノールの
唯一の製造メーカー
高度な硬化技術

食品事業

蓄積された糖化技術
充実した糖化設備
糖+化学の融合技術



高純度・
先端材料

電材分野

環境対応
ケミカル

高機能
糖ケミカル

Green分野

基本方針

1. 新規事業創出のための基盤作り
2. サステナビリティを巡る課題への取り組み
3. 経営基盤の強化
4. 生産性向上、収益力強化

4つの目指す方向性

① 高純度・先端材料

② 環境対応ケミカル

③ 高機能糖ケミカル

④ 経営基盤強化

電材分野

Green分野

数値目標

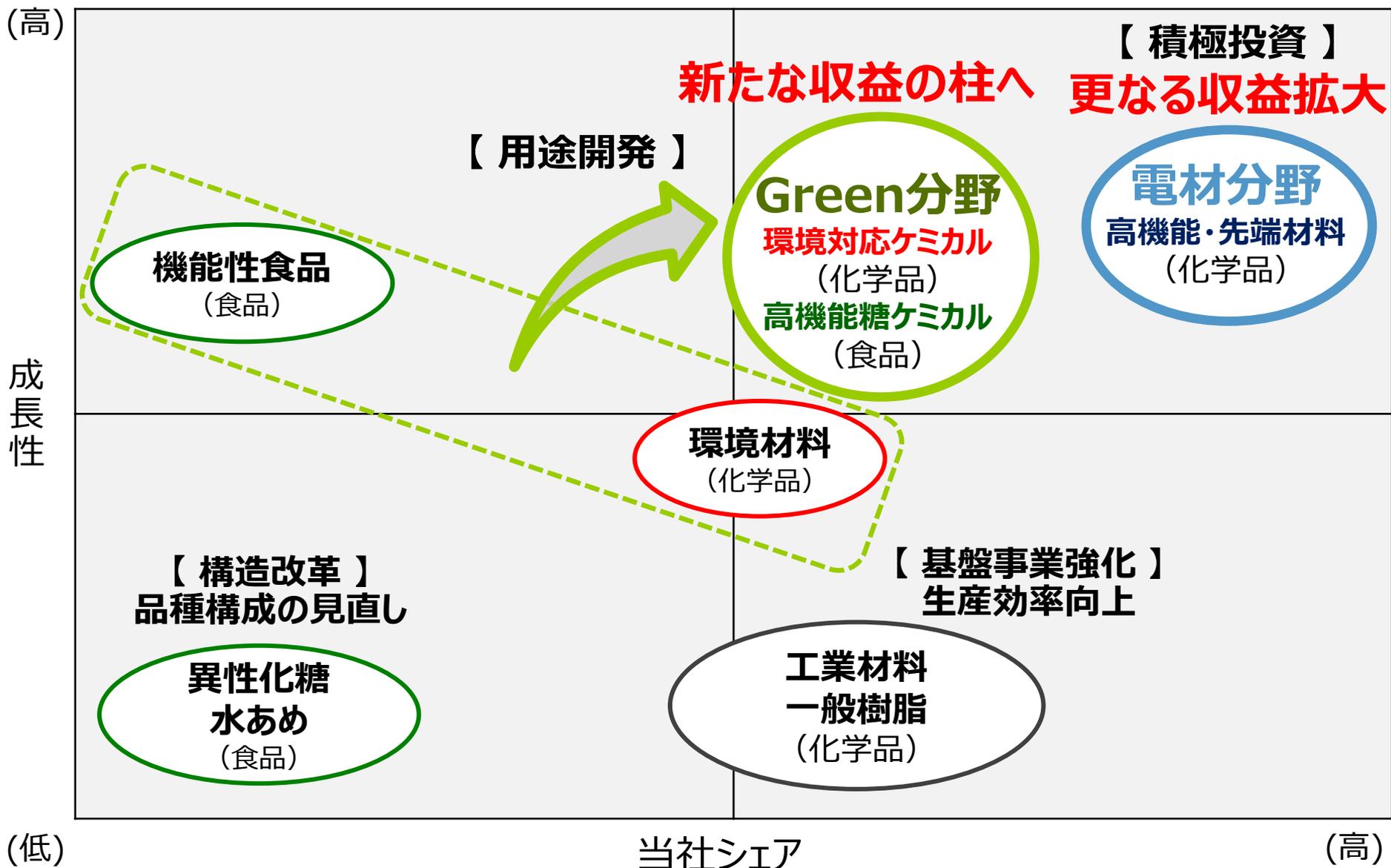
財務目標	2021 年度 (実績)	2024 年度 (目標)
売上高	294 億円	350 億円
営業利益	25 億円	40 億円
営業利益率	8.5 %	11 %

非財務目標	2030 年度 (目標)
CO ₂ 排出量 *	30 % 削減

*Scope 1・2, 2013年度比

設備投資計画

55億円 (内、電子材料関連戦略投資：15億円)

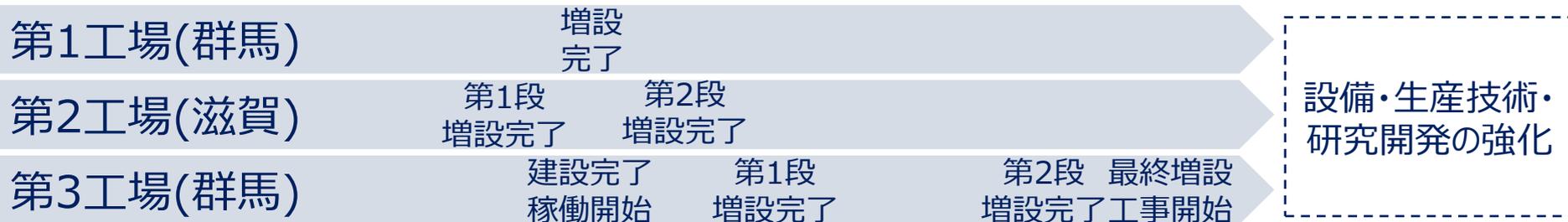
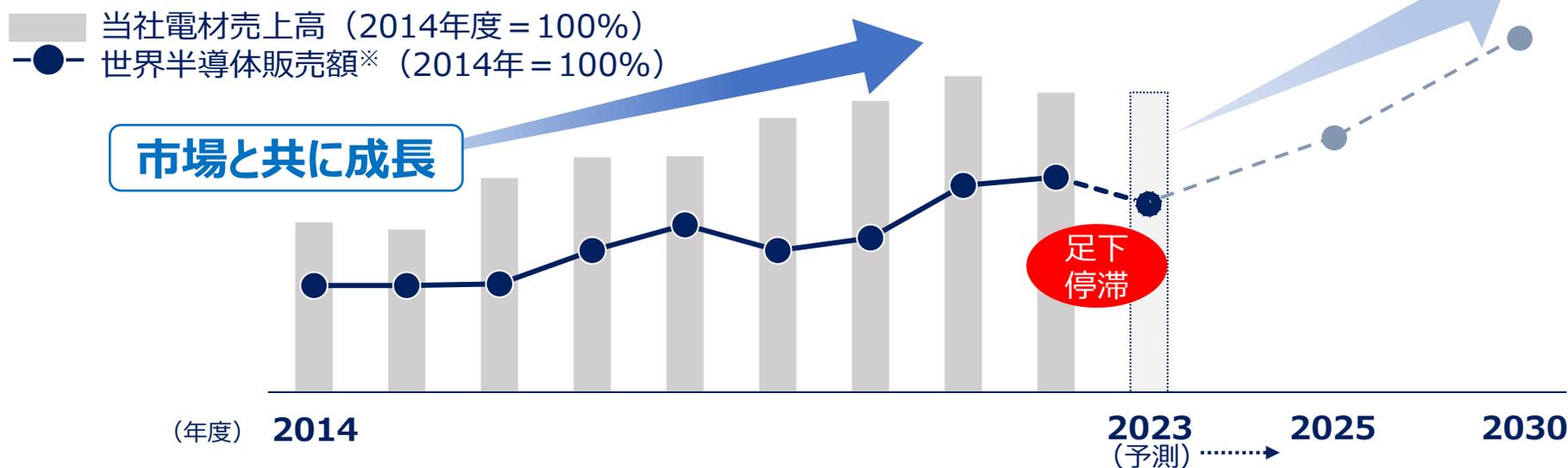


方向性		主な方策	中経1年目 主な取り組み結果
電材分野	高純度 ・先端材料	重点投資による 事業拡大	<ul style="list-style-type: none"> 増産投資 計画通り進行中 → Topics①
		先端材料分野の 開発強化	<ul style="list-style-type: none"> 半導体周辺材料向け新製品試作開始 開発リソース強化
Green分野	環境対応 ケミカル	環境対応製品の拡販	<ul style="list-style-type: none"> 溶剤回収用カイノール売上高30%増加 生産能力増強完了 生産ライン増設決定 (2025年度稼働予定) → Topics②
		LCA*対応による 環境負荷低減システム開発	<ul style="list-style-type: none"> LCA評価方法設定完了
	高機能糖 ケミカル	植物性ミルクの素などの 高付加価値製品の拡販	<ul style="list-style-type: none"> オーツミルクの素 販売開始
		大学等外部機関とのアライアンス 強化による糖ケミカル材料開発	<ul style="list-style-type: none"> 化粧品原料 試作開始
経営基盤強化		サステナビリティを巡る 課題への取り組み強化 従業員エンゲージメントの向上	<ul style="list-style-type: none"> 東証プライム市場 上場基準適合 ESG活動促進 → Topics③

* : Life Cycle Assessment

足下の電子材料市況は停滞も中長期的には拡大傾向 市況回復・市場拡大に向け、設備・生産技術・研究開発を強化する

世界半導体市場と当社電子材料向け売上高・設備投資



カイノール生産ラインの増設を決定 2025年度稼働予定 投資額 約16億円、生産能力 約30% 向上

当社環境材料向け売上高・設備投資 (予測)

■ 当社環境材料売上高 (2016年度 = 100%)



溶剤回収用途を
中心に増加



カイノール生産工場 (群馬)

(年度) 2016 2020 2021 2022 2023 2025

既存設備増強 30%up

生産ライン新增設 30%up

生産能力
計約 **70%up**
(2021比)

工事

試運転

稼働

稼働
予定

E (環境)

- ・TCFDへの賛同と情報開示
- ・実質CO2フリー電力の導入
(削減量約4千t-CO2e)
- ・CDP気候変動質問書2022
「B-」(マネジメントレベル)
- ・EcoVadis
「Bronze」(上位50%以上)



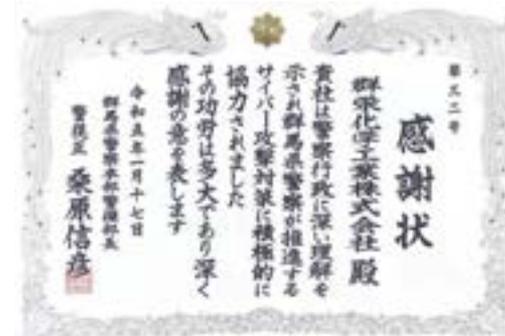
S (社会)

- ・イベント、パートナーシップ参加
SDGsぐんま連絡会議
高崎環境パートナーシップ会議
たかさき環境フェア
- ・当社製除菌液寄贈



G (統治)

- ・株式報酬制度導入
- ・ITガバナンス強化
(群馬県警より感謝状 サイバー対策)
- ・人権方針制定
- ・健康経営優良法人2023



業績予想を修正・・・売上高▲10億円、営業利益+5億円

【修正理由】

上期：ディスプレイ向け、非住宅設備の断熱材向け製品が堅調に推移したことや、
 原材料価格高騰分の価格転嫁の浸透、在外子会社の業績改善などの影響により、利益が増加

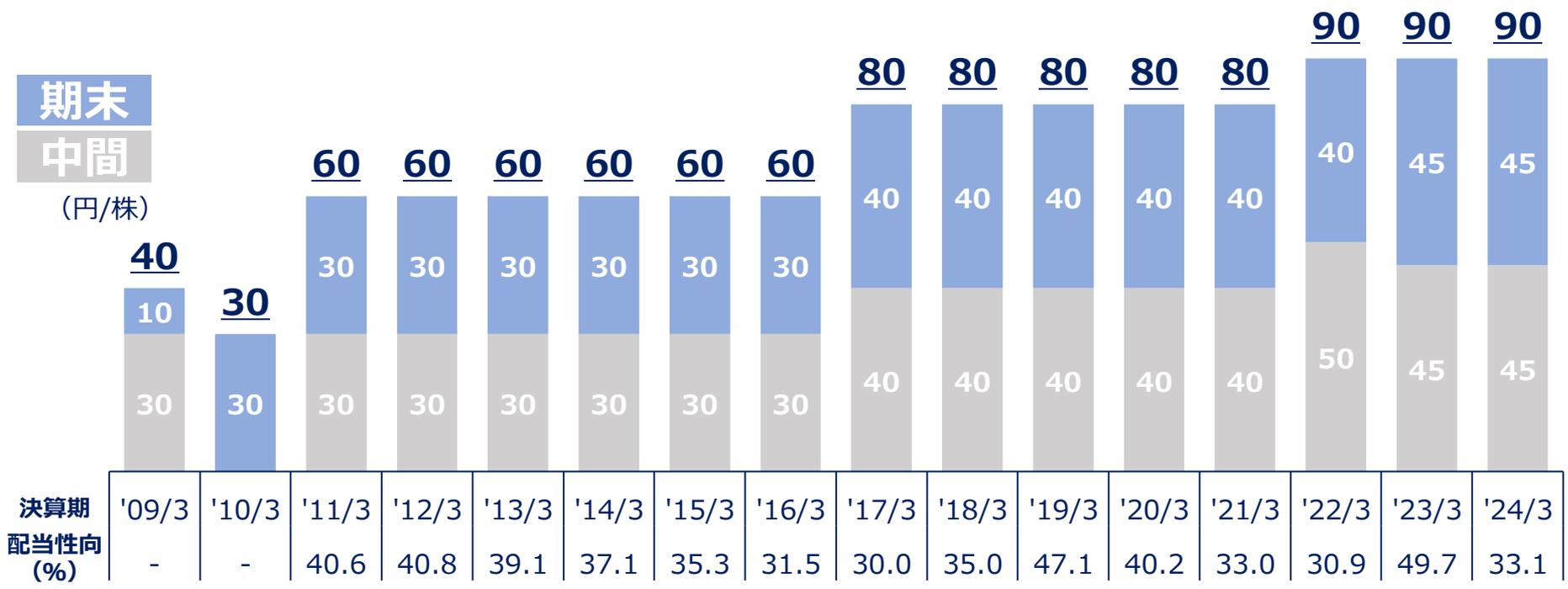
下期：半導体市況の回復遅れ、中国経済の悪化などの下振れ要因の影響を見込む

単位：百万円

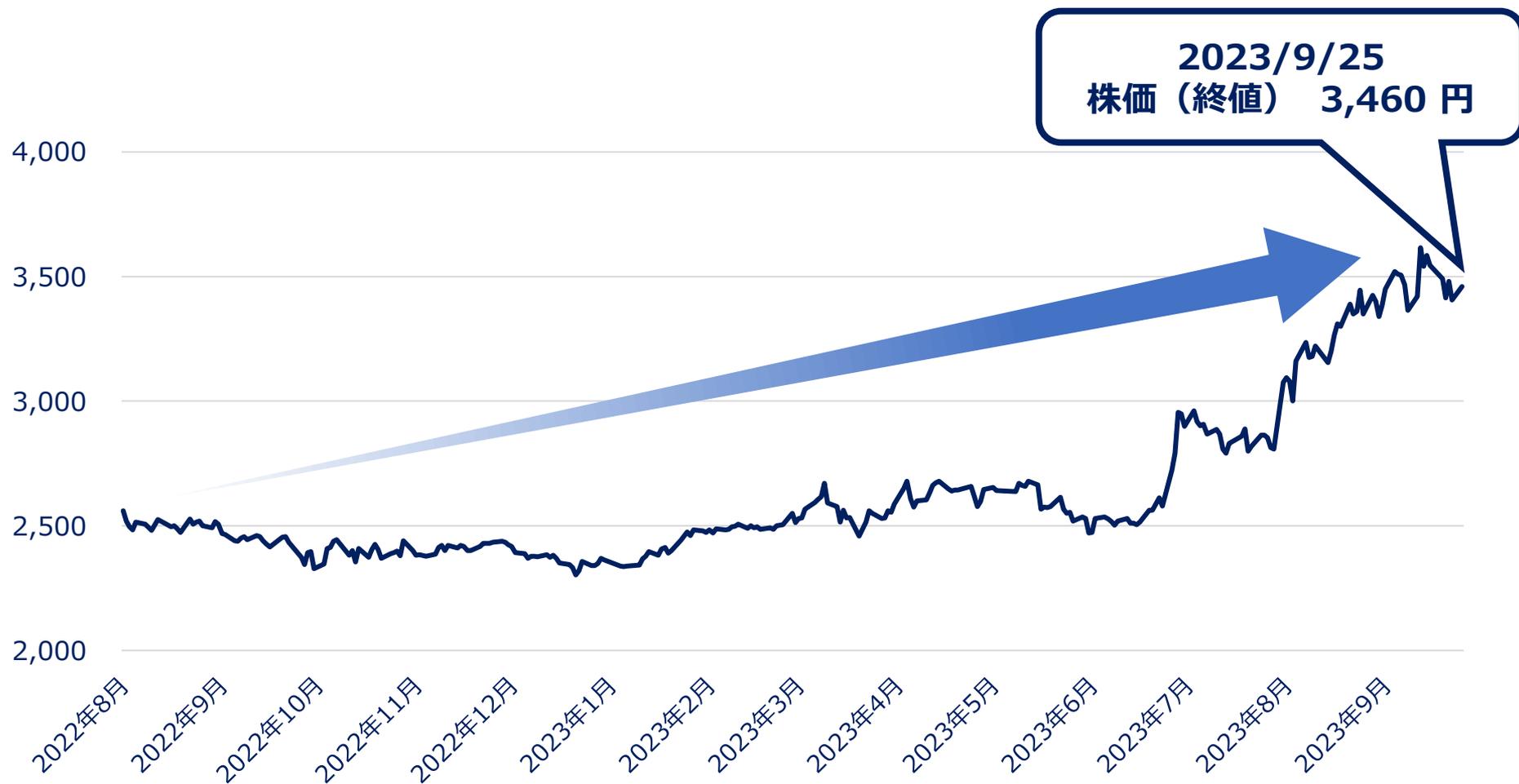
	2024年3月期 当初予想 2023年5月13日 発表	2024年3月期 修正予想 2023年9月20日 発表	増減	(参考) 2023年3月期
売上高	32,000	31,000	▲1,000	31,390
営業利益	1,900	2,400	+500	1,659
経常利益	2,100	2,600	+500	1,939
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,400	1,800	+400	1,201
売上高営業利益率	5.9%	7.7%	+1.8pt	5.2%
為替 (円/\$)	130	140	-	135
ナフサ (円/kL)	67,000	65,000	-	76,700

配当方針	1株当たりの配当の向上に努め、配当性向 30%を目安に安定的な配当を目指してまいります
-------------	---

13期連続 減配なし ('23/3実績まで) 配当性向 30%以上



配当利回り 2.60% (プライム市場平均※ 2.22%)

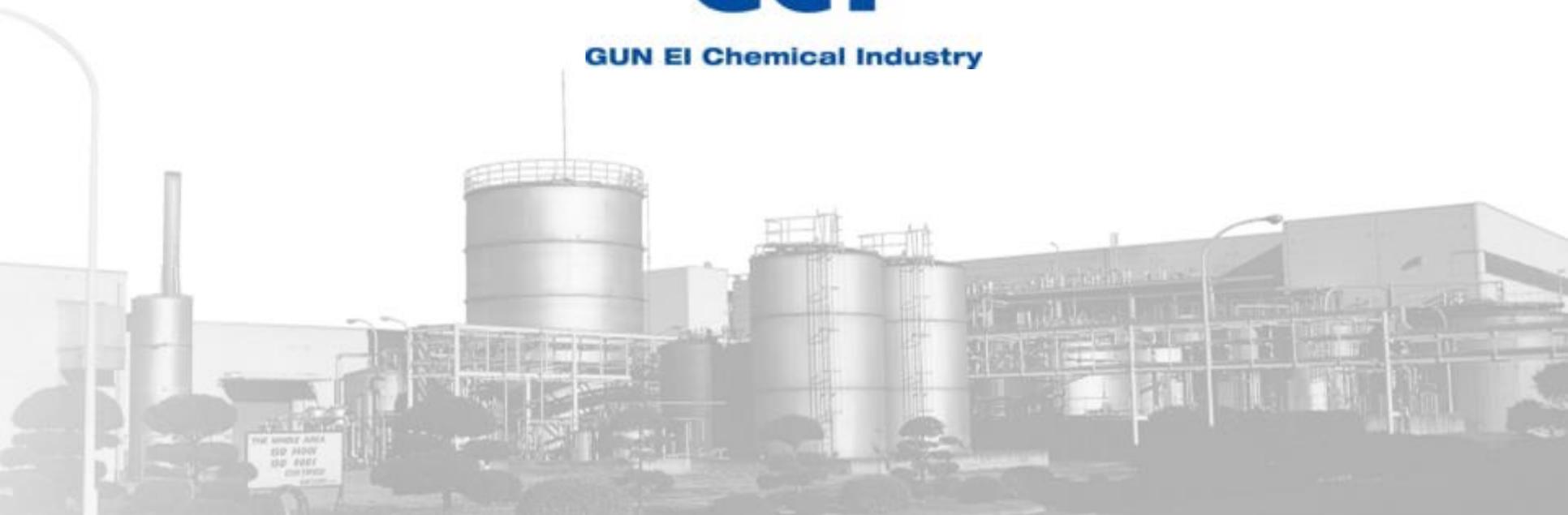


ご視聴ありがとうございました

化学のココロ。

GCI

GUN EI Chemical Industry



Appendix

当社の用途と製品の特長について

用途		製品・技術・特徴など	主なユーザー
化学品セグメント	電子材料	電子材料 フォトレジスト用ノボラック樹脂 半導体周辺材料 高純度化技術 品質管理能力	レジストメーカー 半導体材料メーカー
	自動車 各種機械	工業材料 鋳物用バインダー「α system」 「β system」「NFURAN」など 高機能摩擦材用樹脂「ミレックス」 工業用フェノール樹脂「レチトップ」 ユーザー毎個別のカスタマイズ	鋳造メーカー ブレーキメーカー
	住宅 成形材料 その他工業用途		断熱材メーカー 成形部品メーカー 塗料メーカー
	環境・溶剤回収 航空宇宙 難燃繊維	環境材料 高機能繊維「カイノール」 真球状樹脂 フェノール樹脂繊維の特徴的性質	溶剤回収装置メーカー 航空機部品メーカー 防護服メーカー
食品セグメント	清涼飲料 菓子類	食品 澱粉糖製品群（異性化糖 など） ピュアトース（マルトトリオース） 麦芽エキス製造技術 穀物糖化技術 糖誘導品	飲料メーカー 菓子メーカー
	ビール系飲料 穀物ミルク		飲料メーカー
	化粧品原料		化粧品原料メーカー

主要な経営指標等の推移

【連結】

回次 決算年月		第102期 2019年3月	第103期 2020年3月	第104期 2021年3月	第105期 2022年3月	第106期 2023年3月
売上高	(百万円)	27,636	26,983	25,194	29,406	31,390
経常利益	(百万円)	1,836	2,141	2,451	2,815	1,939
親会社株主に帰属する 当期純利益	(百万円)	1,176	1,370	1,607	1,929	1,201
包括利益	(百万円)	351	1,410	2,602	1,826	1,838
純資産額	(百万円)	41,746	42,020	43,750	44,889	46,107
総資産額	(百万円)	51,048	50,626	51,984	54,680	54,600
1株当たり 純資産額	(円)	5,813.59	6,014.34	6,367.01	6,550.74	6,723.36
1株当たり 当期純利益金額	(円)	169.77	198.93	242.06	291.13	181.26
自己資本比率	(%)	78.9	79.8	81.2	79.4	81.6
自己資本利益率	(%)	2.9	3.4	3.9	4.5	2.7
株価収益率	(倍)	15.2	12.3	10.5	10.3	14.3

Q on Q業績推移

■売上高 ●営業利益

単位：百万円



＜見通しに関する注意事項＞

本資料の業績予想・見通しは資料作成時点において入手可能な情報に基づいて判断したものであり、将来の計画数値、施策の実現を保証するものではありません。

問合せ先：コーポレート本部 IR担当

TEL: 027-353-1818 (代表)